

## 2019年 千葉県シニアサッカーリーグ（リーグカップ）要項

- 1 目的 参加各位の健康増進を図り、生涯サッカーを志す同士の仲間作りを推進する機会とする。
- 2 主催 (公社)千葉県サッカー協会
- 3 主管 (公社)千葉県サッカー協会シニア委員会
- 4 協力 (NPO 法人)市原市サッカー協会
- 5 協賛 (株)モルテン、(株)アスレタ、(株)ウインスポーツ (PENALTY)
- 6 期 日 平成31年2月～11月
- 7 会 場 県営スポーツセンター天台サッカー場、市原スポレクパーク、市原市各グラウンド、東総運動場  
フクダ電子スクエア・フィールド、成東総合競技場、千葉銀更科G、他

- 8 参加資格 ※チームは千葉県サッカー協会シニア委員会・シニアリーグ部会に登録、参加すること。  
40代：2020年(4月1日)以前に満40歳以上の者(1980年4月1日以前に生れた者)を原則とし、40歳未満(37歳以上)の者は、1試合3名まで参加可能とする。  
50代：2020年(4月1日)以前に満50歳以上の者(1970年4月1日以前に生れた者)を原則とし、50歳未満(47歳以上)の者は、1試合3名まで参加可能とする。  
60代：2020年(4月1日)以前に満60歳以上の者(1960年4月1日以前に生れた者)を原則とし、60歳未満(57歳以上)の者は、1試合3名まで参加可能とする。  
70代(O-65JUNIOR)：2020年(4月1日)以前に65歳以上の者(1955年4月1日以前に生まれた者)・アンダー枠なし。

※ 日本サッカー協会に登録されたシニア登録チーム・シニア選手(個人登録も行うこと)とする。  
クラブチーム登録は各世代参加に関わらず、1クラブチーム登録で構わない。  
例：(古河市原シニア40、50、60)同一チーム登録(古河市原シニア)です。

### 9 参加チーム(予定)

- 40代：①FC 船橋、②古河市原シニア、③1981、④浦安シニア、⑤Y-AJACK、⑥大倉商事 SC  
⑦千葉四十雀 SC、⑧SHOWA FC、⑨佐倉シ、⑩FC トキガネ、⑪P-AJACK、⑫商大ク  
⑬ビックホーン、⑭習志シ40、⑮FC ブラゼンチン、⑯四十雀ク東京、⑰八千代 FC、  
⑱袖ヶ浦木更津シニア、⑲市原シニア、⑳千葉四十雀 45、㉑大木戸パパ、㉒花薊 OYJIS、  
㉓九十九里シ、㉔ハルオ FC、㉕FC エスパランザ、㉖、㉗習志野四十雀、㉘スケット FC  
㉙八日市場 FC、㉚レーベン FC、㉛H. S. G、㉜KAMAGAYA SC  
以上、31 チーム
- 50代：①習志野四十雀、②古河市原シニア、③千葉四十雀 SC50、④千葉四十雀 55、  
⑤緑町シニアスターズ、⑥龍子会、⑦FC 佐倉シニア、⑧四十雀クラブ東京、⑨FC 浦安シニア、  
⑩習志野台 SC50、⑪袖ヶ浦シニア、⑫浜野シ FC、⑬FC 船橋 50、⑭習志野台 55、⑮大木  
戸ば 50、⑯大木戸ば 55 ⑰FC 船橋 55、⑱ちば興銀 50、⑲FC オクトパス、⑳九十九里シ  
以上、20 チーム
- 60代：①浦安シ60、②千葉四十雀 SC、③四十雀クラブ東京、④ACちば、⑤習志野四十60  
⑥古河市原シニア60、⑦袖ヶ浦木更津シニア、⑧佐倉シニア60、⑨龍子会 60、⑩葛城ク  
⑪習志野台シ60、⑫ねんりん県選抜 12 チーム
- 70代 (O-65 junior)  
①ACちば70、②ACちば65A、③ACちば65B、④千葉四十雀・合同65  
以上、4 チーム 計、67 チームのリーグ

- 10 表彰 チーム 世代毎に優勝、準優勝、第3位を表彰する。(カップ・トロフィー・賞状)  
個人 世代毎に最多得点賞、最多アシスト賞、GK賞、特別賞他を表彰する。
- 11 競技運営方法  
(1) 試合時間 25分ハーフ  
(2) 会場準備 会場の準備は、原則として第一試合のチームが行い、後片付けは最終試合のチームが行うこと。  
(3) 選手証確認 本部当番チームが選手証(カラーコピーでの流用を認める)の参加メンバー表の確認をし、試合を運営する。グラウンドの後片付けまで確認をし、終了とする。  
(シニアリーグ用メンバー表使用：アンダー・重複登録・U・重複登録を確認する)  
(4) 試合結果 午後、最終本部担当チームが事務局へメールにて結果報告する。又、担当レフリーは必ずゲーム結果表に記入する。(得点者・アシスト者も記入する。) 試合後、各チーム代表者は個人記録を本部に出向き確認する。
- 12 競技規則 千葉県シニアサッカーリーグ細則による。
- 13 参加申込  
(1) 所定の参加用紙に必要事項を記入し、事務局あてにメールで送付(メール申請)すること。  
(公社)千葉県サッカー協会 シニア委員会事務局  
〒284-0008 千葉県四街道市鹿放ヶ丘507-7  
TEL 043-424-6601 FAX 043-424-6601  
事務局記録係 榊原(浦安)、伊倉(FCトキガネ)、高橋(ビックホーン)、井上あて  
(2) 申込期日 平成30年12月29日(土)必着
- 14 参加料 1チーム¥40,000(0-65参加費¥30,000-)を平成31年1月3日~11日までに下記口座に送金すること。  
(口座)千葉県銀行 京成駅前支店 店番号(025)口座番号3611048  
千葉県サッカー協会シニア委員会 会計 三橋 和生
- 15 ユニフォーム ユニフォームについては、正副2着を所持し、登録した番号のユニフォームを着用すること。アンダーウェアの使用は認めるが、ユニフォームと同色、又は紺・黒であること。アンダーパンツについても同色、黒もしくは紺色の使用を認める。
- 16 傷害保険 本大会参加者は、全員スポーツ保険等の傷害保険に加入すること。試合中のけが等はチームの責任で処置する。
- 17 代表者会議 平成31年1月12日(土) 予定9:30~13:00  
会場 千葉県スポーツ科学センター第1研修室(3階)  
〒263-0011 千葉市稲毛区天台町323(天台競技場内)
- 18 その他 優勝チームは、関東選手権大会に出場できる。  
40代一部 優勝：関東選手権県大会  
40代二部・三部優勝：12月 茨城神栖市長杯(神栖市G)  
50代一部 優勝：群馬県大会 二部優勝チーム：松島フェスタ(希望により)  
60代 東京都大会(選手権準優勝チーム)
- ※ 優勝チームが千葉県サッカー選手権大会優勝チームと重複する時は、準優勝チームが次の試合に出場できる。  
(40代：群馬県、50代：東京都、60代：山梨県大会)

大会事務局 立花秀人、高口義彦、井上周之(古河市原)、岩川稔則、鈴木善克(緑町)、呉羽忠彦(ACちば)、加藤優、伊勢昌司、(四十雀クラブ東京)、鈴木和夫、坂本淳、吉田和浩(習志野四十雀)、外山正(葛城)、加藤正仁、福田美正(習志野台)、守月理、亀田政幸(龍子会)、今田浩之(ちば興銀)、進藤 博、小林正喜、足利尚紀(千葉四十雀SC) 松永俊宏、大柳直哉(FC船橋) 橋本直幸、榊原淳一、清宮 千里、斉藤貴則(浦安)、栗原健一(1981) 井上龍彦(ねんりん)

本間史彦（八千代FC） 野田高志、野原朝信、生野隆（袖ヶ浦木更津シニア）、櫻井文男、佐藤寿英、高橋雄一（FC佐倉）、清水勝雄（ハルオFC） 堂本雅一（大木戸ばば）、大谷昌（大倉商事SC）、須永裕幸（花園OYJ）、坪田達也（SHOWA FC）、大木一郎（九十九里シ）、中野秀昭（Y-AJACK）、高橋孝治（スケット）、長谷川文男（八日市場FC）、伊倉広幸（トカネFC） 他（順不同）

## シニア委員会事務局

|       |             |       |                   |
|-------|-------------|-------|-------------------|
| 運営委員長 | 田上 雅彦       | 審判 委員 | 永瀬 薫、手塚 千俊、時田 秀男  |
| 会場係   | 井上 龍彦、子安 泰晶 | 会 計   | 三橋 和生             |
| 庶 務   | 中野 秀昭       | 記 録   | 榊原 淳一、高橋 征良、伊倉 広幸 |

## 千葉県シニアサッカーリーグ細則

- 1 参加チームは、日本サッカー協会千葉県にチーム登録（チーム登録及び個人登録）をすることとする。メンバー追加登録は随時可能。但し、必ず事務局に登録をする事。但し、入替戦出場チームの追加登録はリーグ戦最終試合（8月末）までとする。（千葉県登録チームに登録された選手以外の出場はできない。尚、今年度は移籍された選手の出場も認める。試合には登録選手証（カラーコピー使用可能）、試合メンバー表を提出すること。
- 2 年齢 40歳リーグ：37歳以上（グラウンドには40歳以下の者3名までとする）とし、女子は年齢を問わない。  
50歳リーグ：47歳以上（グラウンドには50歳以下の者3名までとする）とし、女子は年齢を問わない。  
60歳リーグ：57歳以上（グラウンドには60歳以下の者3名までとする）とし、女子は年齢を問わない。  
70歳（0-65）リーグ：65歳以上アンダー枠参加はできない。女子は年齢・重複登録を問わない。
- 3 資格：チャレンジチームの登録人数は11名揃える事。重複・アンダー枠登録人数は10名以内。グラウンド上各3名までとし、アンダー枠含めグラウンド上4名まで。（60代以上リーグは現在その限りではない。）  
重複登録選手は所属するチームのリーグに他1チーム。他のリーグに各1チームとする。60代選手はその限りではない。所属クラブ以外のアンダー枠選手は、2人分枠の使用（60代選手以外）とする。
- 4 同一クラブで2チーム以上のチーム登録時、両チームチャレンジする時は単独チームで各登録をしなければならない。単独チームとは11名以上の登録者があり、重複登録者はグラウンドに3名までの出場、アンダー枠選手を含め、グラウンドには4名までの出場とすること。
- 5 リーグ参加費は40,000円（65リーグ3万円）とする。但し、全ての試合を芝のグラウンドを使用することから、会場使用料により変更もあることとする。
- 6 年齢に関し、当該チーム及びレフリースより年齢提示の希望が出たチームは速やかに証明できる物を提示する事。
- 7 **試合成立は7名以上とする。**但しメンバーが不足しても人数により試合が出来る時 当該チームは相手チームに迷惑の掛けない様試合をする義務が有る事を確認しておく事。試合の直前キャンセルに関してはリーグ事務局により除名することも有る。
- 8 レフリーの資格は求めないが、3級以上の技能を有する者とする。レフリーの登録をチーム内で決定し、事務局に届け出る事。レフリーは当リーグにより決定された担当チームが行う。審判服を着用し審判を行う事。（個人表彰に伴い、試合結果を記録表に記録し、事務局に報告をすること。）
- 9 選手、監督はレフリーの決定に必ず従う事。又、レフリーの判断により選手、監督を退場させることができる。この時、次試合の参加もレフリーの判断で事務局に報告し決定するが、その場でレフリーの判断により次の試合の参加許可も出せる事とする。
- 10 警告は累積となり、2回で次試合出場停止とする。悪質行為、非紳士的行為が発生時はレフリー及びリーグ委員会事務局の判断にゆだねる事とする。出場停止は当該チームで消化されない限り他チーム（重複登録）からも出場はできない。  
※ 危険な行為及び非紳士的行為で指示に従わない時は、レフリーの権限で選手交代を促すことができる。（退場とせず、交代を即し冷静な判断ができるようにし、再出場を認める。誘導すること）シンキングの適用。  
審判へのクレームは一切認めない。非紳士的行為を認めないことを各チームの選手に徹底すること。
- 11 怪我をしない、させない様、各チーム内で徹底する事。  
オフサイドについては従来のルール（オフサイドと判断した時に笛を吹く）でも構わないとする。
- 12 メンバーの交代は常時可能とする。又、交代したメンバーが再度、交代メンバーにもなれる。自由な交代を認める。交代の時は本部、審判に確認をして入る事とする。（時間稼ぎの交代は非紳士的行為とし認めない）

- 13 試合中の怪我・事故に関し、各チームの責任に於いて傷害保険等に加入し対処すること。  
14 グランド・会場は、企業・行政から借用しております。(各会場注意事項、規則を遵守する)

15 各リーグ入替戦方式、各上位リーグの最下位と下位リーグ1位チームは自動入替。  
上位リーグ下位2番目チームと下位2位チームは入替戦を行う。入替戦当該チーム登録は8月末まで登録選手とする。  
9月始めに入替戦メンバー表の提出登録をする。

\*必ずゴミは各自で持ち帰ること。喫煙は所定の場所で行うこと。

※ 他 競技規則は日本サッカー協会競技規則に準じる。

(MC: マッチコミッサリー): 追加細則 (趣旨)

千葉県サッカー協会シニア委員会はサッカーの発展とシニア世代の健康維持と県内シニア世代の交流を深めスポーツとしてサッカーの仲間作りを図る。

大会参加の全てのプレーヤーが円滑な安全管理のもと、ゲーム進行ができるよう快適環境を提供する事。

年々増加するシニアサッカープレーヤー、競技者にはフェアプレーの重要性和競技規則を守り、サッカー競技の品位を保つよう配慮することも重要になっている。このため、千葉県シニア委員会は公平性と大会実施要綱に沿った円滑な運営を行う為、

※本部の役割(MC: マッチコミッショナー) 役割を担う。

運 営

1、第一試合本部担当は1時間前に集合し、会場設営の指導と監督、最終本部は会場の後片付け、最終処理まで確認を行う。

2、運営(試合当日の事前準備)スケジュール表・結果表・審判報告書を雛形でプリント準備。

3、タイムスケジュールの遵守:

試合開始時間、終了時間を徹底する。借用グラウンドは時間が限定されております。最終試合が円滑に終了できる様全体試合数を把握し運営をコントロールする。とくに時間で借用している会場の運営は注意する。

開始時間: 各時30分(00分)、終了各時25分(55分)、遅れたた時には後半時間短縮(事前当該チームに案内)

4、飲水タイムを取る時は、迅速な飲水時間(事前準備を即しておく)で済ませる。・事故以外、ロスタイムは取らない。

5、メンバー表、選手証の事前提出を30分前に行う。又、審判の準備(前試合時はスタートに支障が出ない様に即す)

6、選手の集合を10分前に又、用具チェックも本部が行う。

7、本部の引継ぎを行う時は報告、確認し円滑な運営ができる様行う。

8、スケジュール左チームがホームとしてグラウンドに向かい左ベンチを使用、ホームユニフォームを着用する。

9、試合終了後、両チーム代表者により個人記録の確認を行う事。確認無しで離れた時、試合後の個人記録訂正は認めない。

※マッチコミッサリー

1、千葉県シニア委員会が主催する各カテゴリー(40・50・60)毎の本部は(MC: マッチコミッショナー)の役わりも行う。

2、選手証により選手の試合に於ける出場資格を確認し、メンバー表に記載不備がある時は訂正をさせる。

3、試合後に結果確認を審判含め行う。得点者等不明な時は当該チームに必ず確認を取る。(不明のままにはしないこと!)

4、試合の中断又、悪質な違反による退場、イエローカード等は必ず審判に報告書の記入が有るか確認をする。

5、本部担当者は審判に円滑な試合運営が出来るよう、アドバイス、コントロールを行う。

6、審判のジャッジ、判定基準、判断、運動量などに問題が有る時は結果報告書にて報告をする。

7、終了後、試合結果表、審判報告書を事務局(井上・胡子まで)メールにて提出する。

8、ユニフォームのチェック、ユニフォームは各パーツが対戦チームで同色にならないよう確認をする。

※審判の役割、心構え

1、試合前、試合後に両チームにハンドシェイク(握手)をかみならず行わせる。フェアプレーの重要性、推奨

2、相手選手への安全の配慮、危険なタックル、腕やひじの不正使用の根絶。

3、審判員、相手選手、チーム内に批判や中傷を云っていないか等、確認。

4、タイムスケジュールの遵守、試合開始、ハーフタイム、飲水タイム、終了時間の厳守。

5、審判は近くでの判定に心掛ける。正確な判定ができるよう、動いてジャッジする。センターサークルから動かないで判定している審判が見受けられるので特に注意をする。

6、結果確認、報告(審判報告書に署名、副審の署名(氏名、所属クラブ))

※試合球(モルテン製) 40代: F5V5000・4000 50・60:代 F5V3050 65・70代: F5V3060 を 使用する事。